



The World Bank

人的開発ネットワーク

コンタクト

ワシントン :

Phil Hay + 1 (202) 473-1796

Mobile: + 1 (202) 409-2909

e-mail: phay@worldbank.org

Stevan Jackson + 1 (202) 458-5054

Mobile + 1 (202) 437-6295

e-mail: sjackson@worldbank.org

東京 :

平井智子 + 1 (81-3) 3597-6650

e-mail: thirai@worldbank.org

解禁日ご協力をお願い

ニュースのワイヤー送信やウェブサイト掲載をはじめとするメディア使用の解禁日 :

日本時間2005年12月1日午前9時01分 (新聞は夕刊から解禁)

米国東部標準時間2005年11月30日午後7時01分

HIV/エイズとの闘いが遅々として進まないのは 不十分な調整作業によるもの

世界銀行がHIV/エイズと世界規模で闘う新計画を導入、 同感染症への長期的な対応を再度確認

ワシントンDC、2005年11月30日 — 世界的に猛威を振るうHIV/エイズが新たな段階に入った。この感染症と戦うには、国際的ドナーと途上国の間で、共通の国家戦略を中心とした資金の動員がかつてなく要求されている、と世界銀行は本日、新たに策定した世界HIV/エイズ戦略の中で警告している。

いまやかつてない規模の資金が提供され、治療法も大幅に進歩し、予防、治療、介護の方法についての理解も深まり、この感染症の蔓延阻止を決意する政府が一段と増える中でこうした努力も大いに増したが、その反面、2005年ほどHIV感染者数とエイズによる死亡者数が多かった年もこれまでになかった。

「HIV/エイズの蔓延を逆転させるための集約的な努力の妨げとなっている障害には、積年の問題と新たに浮上した問題の両方が混ざり合っています」と、**世界銀行のポール・ウォルフ**

オウイツツ総裁は述べた。「各国の国家HIV/エイズ戦略計画は、まだ優先項目が鮮明に打ち出されていません。予防、介護、治療といった面での努力もまだウィルスの進行を鈍化させたり阻止するまでに至っておらず、管理体制や実施体制の欠陥により、思うような成果が上がっていません」。

世界エイズデーの前夜に発表された世界銀行の新グローバル計画は、HIV/エイズに対する世銀の対応を国レベル、地域レベル、世界レベルで強化しようというもので、無利子の融資、グラント、分析、技術援助、政策上の対話を通してその実現を図っている。

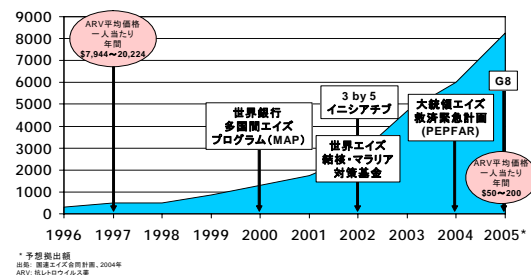
このグローバル行動計画は、途上国、中所得国、国際機関、非政府組織（NGO）など国際エイズ・コミュニティで活躍する組織や団体の助言を反映させたもので、次に挙げるいくつかの重要分野でより効果的な行動を促すための支援を行っている。

- 国家的、地域的な HIV/エイズ・プログラムにより多くの資金を導入する一方、その基盤となる保健制度を強化
- 国家 HIV/エイズ戦略の質と規模を拡充
- ドナーとより密接に協力した現地での支援活動のスピード化
- 国レベルでのプログラムの監視システムや評価システムの強化
- これまでに成果を上げた政策や活動の共有

HIV/エイズとの世界的な闘いは近年、一段と拍車がかかってきた。これは、各国政府やドナーの側で政治的公約を行うことがかなり増えてきたため、HIV/エイズ向け資金の世界総額は、1996年に3億ドルだったのが、2005年にはおよそ80億ドルに膨らんだ。

この世銀の新計画によると、世銀は、途上国と中所得国のエイズ対策に資金を提供する主要機関の一つとして今後も引き続き活動し、重要な意思決定に際しては必ず、リスクに対する脆弱性、疫学、影響評価などを信頼筋から入手して事実に基づいた決断を下すほか、HIV/エイズ・プログラムが女性、若者、少数民族、高リスク層に効果的に浸透するよう万全を期すと述べている。

HIV/エイズの世界総支出額
(単位: 100万米ドル)



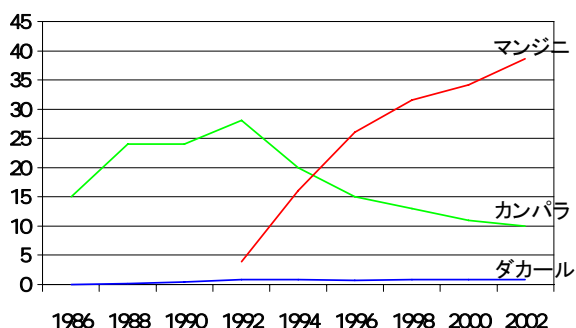
世銀はまた、HIV/エイズ問題を今後も、教育、運輸、インフラ、ジェンダー、若者、法務、民間といったセクターの主流に組み入れてゆく。国際エイズ・コミュニティによると、こうした異なる分野で作業を推進できる能力こそ、例えば、この感染症の「女性特有化」といった問題と闘うのに不可欠だとしている。こうした傾向と取り組むには、子女教育、経済成長の促進、貧困削減といった分野で成果を素早く出す必要があるからだ。

「この感染症が新段階に入った今、世銀は、各国とドナーが、生命に関わる国家的戦略分野で連携を密にしてこの感染症の撲滅を図っていくうえでの支援と、インパクトをさらに強めるための協力体制を確立する際の支援を行っていくことになるでしょう」と、**国連事務次長であり国連エイズ合同計画の事務局長でもあるピーター・ピオット博士は述べた。**「さらに、このグローバル行動計画は、我々全員が「三つの統一」という原則に立ってこの感染症の撲滅をいざれ達成するのに、世銀がどのような形で援助してくれるのかを説明しています」。

今や、国際エイズ・コミュニティで幅広く活用されているこの「三つの統一」という原則は、(1) HIV/エイズ方面で権限をもつ国家当局、(2) 国家的戦略計画、そして(3) 監視・評価システムがそれぞれ一つずつ統一される必要があるとしている。

世銀によると、国際社会は、地域から地域へと、そして様々な諸国で複雑な調査を行いながら、この感染症に関する詳しい情報がかつてなく大量に習得してきたと述べている。下記のグラフはアフリカの南部、西部、東部にある 3 都市でこの感染症がいかに異なる経緯をたどったかを示している。世銀は、HIV/エイズの活動で欠かすことができないのは、この感染症が現地でどのような感染パターンをもち、各コミュニティの無防備な点はどこかを正しく把握して、こうした要因を地元レベルのエイズ対策に組み入れていかなければならないとしている。

感染の浸透経緯は様々



「我々の戦略の中核となっているのは、新たな感染を防止することです。さらに、HIV感染者やその影響を受けている者に適切な介護と治療を施すことが急務です」と、**世銀の世界HIV/エイズ・プログラムのデプレワーク・ズーディー局長**は言う。「世銀の支援が真のインパクトを与えるには、支援の範囲と規模が十分でなければなりません。より効果的で、コーディネートされ、調和のとれた対応をしていくには、他の機関との連携をより密にしなければなりません。さらに、確かな事実に基づいてプログラムを進めていく必要があります」。

世銀は今後も、貧困者に質の高いサービスを提供する保健制度と国家能力の拡充に資金と援助を提供していく。これは、HIV/エイズの介入には、多くの国で保健セクターに多大な負担がかかるからだ。この世界戦略では、保健業務に携わる職員の訓練のほか、重要な公共保健機能（これには、監視機能やガバナンスも含まれる）、資材調達、医薬品供給網、その他の重要サプライヤーの拡充、さらに実験研究施設と診断技術の質の向上といった面を特に強調している。

「今急務なのは、対策の幅をいっそう広げるだけでなく、それをもっと効果的に進めなければならないことです。そうすれば、何百万人もの人々の感染が防止され、何百万人も感染者が生産的で健康な生活を送ることができ、エイズで両親を失った何百万人という子供たちが適切な保護を受けているという具体的な数字で、我々の努力の結果を示すことができるのです」と、**ウォルフォウィッツ総裁**は言う。

エイズと世界銀行

世銀は最近、国別支援額を大幅に増大して、エイズの影響が最も深刻な国で拡大プログラムを支援している。HIV向け貸付は、1998年に初のプロジェクトが発足して以来、今日に至るまで累計25億ドルを超えたほか、サハラ以南のアフリカ向け承諾額も、10年前には年間1000万ドルだったのが、過去4年間にわたり年間2億5000万ドル～3億ドルへと増大した。世銀はまた、優れた経済・政策分析を提供して、この感染症が開発作業にどのような潜在的重要性をもつか、予防ケアや治療、緩和プログラムへの投資がどれほど高い見返りをもたらす可能性があるか、といった点で各国を支援している。

-###-

世界銀行は、1996年に設立された国連エイズ合同計画（UNAIDS）の共同設立者の一つです。UN エイズは国連姉妹機関の一環として、国連専門機関 10 機関の業務と資源を総合しつつ、HIV/エイズの国際キャンペーンの中心として活躍しています。世銀はまた、クリントン財団、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（GFATM）、国連児童基金（UNICEF）と協力して途上国におけるエイズ医薬品のコスト削減にも重要な役割を果たしています。

世界銀行のグローバルHIV/エイズ行動計画は
下記のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://siteresources.worldbank.org/INTHIVAIDS/Resources/375798-1127498796401/GHAPAFinal.pdf>

HIV/エイズに関連した世界銀行の活動の詳細は下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.worldbank.org/aids>